長く保存されていたものであり、平成三年(一九九一)、北川家から佐賀県

立図書館へ移管された。概数にして八千点に及ぶと見込まれた膨大な量の

### 調査報告

# 北川家資料調査について

## 、はじめに

九二二)に関わる資料群である。石丸家の親戚筋にあたる北川家において時代に佐賀市の第二・第五・第六代市長を務めた石丸勝一(一八五一~一佐賀県立図書館が整理を行っている北川家資料(以下「資料」)は、明治

資料群であったため未整理のままとなっていたが、「図書館先進県づくり資料群であったため未整理のままとなっていたが、「図書館先進県づくり資料群であったため未整理のままとなっていたが、「図書館先進県づくり資料群であったため未整理のままとなっていたが、「図書館先進県づくり

後、

整理が終了し次第公開を行う予定である。

## 二、「資料」の概要

施した。 箱であったため実質は四十箱である。整理はこの四十箱の概要調査から実「資料」は、木箱・行季・ダンボール箱で全四十一箱、そのうち一箱は空

概要調査は、まず保存箱の寸法・状態の記録、外観の撮影を行った。次



写真① 7箱取り出し前の状態



写真② 年代が記された書簡のまとまり

## 串 間 聖 剛

北川家資料調査について

### 北川家資料の概要

		北川豕箕
箱番号	保存箱	内容(概数・主な資料・状態など)
1	木箱	約20点、和装本
2	木箱	約50点、刊本・雑多
3	木箱	約180点、刊本・石丸倉子宛書簡・「續五明題和歌集」
4	木箱	約10点、和本(小)
5	木箱	約20点、和本・一紙物
6	木箱	約50点、軸物
7	木箱	約3100点、葉書・書簡多数・市長辞職礼状
8	木箱	約2000点、書簡多数
9	木箱	約70点、刊本
10	ダンボール	約300点、履歴書・扇子・俳諧・石丸善助関係資料・肖像写真
11	木箱	約60点、和本・「知人名簿」
12	ダンボール	約600点、書簡・金銭請払帳・収支当座帳・日記
13	ダンボール	約60点、和本・刊本・写本など
14	木箱	約170点、刊本多数(明治期)
15	ダンボール	約20点、活字本
16	木箱	約100点、「学芸雑誌」・「田中老母法事関係」書簡
17	木箱	約200点、英字新聞・葉書・書簡・印鑑・中林梧竹関係資料
18	ダンボール	約50点、写真・大型本ほか
19	木箱	約20点、刊本
20	木箱	約350点、書簡・覚・俳句

_	(11/27/1005)				
	箱番号	保存箱	内容 (概数・主な資料・状態など)		
	21	ダンボール	約320点、写真帳・書簡・地券・地所売買記		
]	22	木箱	約10点、刊本		
]	23	木箱	約30点、刊本		
	24	行季	約2000点、書簡・市参事会決議案・名刺・教員関係書類		
	25	ダンボール	約50点、古物営業帳(楢村家)・西海新聞断片		
	26	木箱	約30点、刊本		
	27	木箱	約30点、刊本・活字本		
	28	木箱	約30点、刊本・「和漢三才図会」		
	29	ダンボール	約80点、佐賀図書館年報・当用日記・佐賀市予算書		
	30	木箱	2点、和歌・短冊・包紙		
	31	行季	約100点、刊本・冊子物・軸物・雑多		
	32	ダンボール	約40点、漢籍・「小學句讀口義詳解」		
	33	ダンボール	約40点、漢籍		
	34	ダンボール	約40点、漢籍・和本		
	35	ダンボール	約80点、漢籍		
	36	ダンボール	約30点、活字本		
	37	ダンボール	約20点、活字本		
	38	木箱	約40点、刊本(虫損大)		
	39	木箱	約3500点、書簡多数		
	40	行季	約50点、刊本		

職関係資料、団体関係資料、

三、主な資料の紹介

ことができた。前者には和本・漢籍・近代印刷本、後者には石丸勝一の公

石丸家の家政資料などが含まれる。

雑誌類と、石丸家において作成・収受された書簡などの記録類に大別する

概要調査が終了した段階で、「資料」は石丸家・北川家が収集した典籍

介する。

これまでに仮目録作成を終えた資料から、特に興味深い資料について紹

典籍・雑誌類

冊になる見込みである。石丸勝一が書画・刀剣の鑑定に携わっていたこと典籍・雑誌類は歴史・宗教・美術など多岐の分野にわたり、全体で約千

## ・『續五明題和歌集』

もあり、貴重な資料が多く見られる。

ている。「資料」のものは、「秋」と「恋」の一部であり、『續五明題和歌集』る。「春」、「夏」、「秋」、「冬」、「恋」、「雑上」、「雑中」、「雑下」からなり、三八二三首が撰集されている。国内では国立公文書館内閣文庫、永青文三八二三首が撰集されている。国内では国立公文書館内閣文庫、永青文三八二三首が撰集されている。「資料」の成立であ

情報と資料の簡単な状態・内容を記録するという手順で実施した。「資料」に資料の現状、及び資料のまとまりを取り出しながら撮影し、同時に位置

旧蔵者である石丸勝一自身が整理を行ったと推察される形跡が多く

残されており作業は慎重に行った。

には、

の成立を研究するうえで重要な資料である。

・『小學句讀口義詳解十三卷』

とから、佐賀の出版事情を知る上でも重要な資料であるといえる。 
「資料」のものは、大坂の伊丹屋善兵衛等が発行したものであるが、発行書 
「資料」のものは、大坂の伊丹屋善兵衛等が発行したものであるが、発行書 
とから、佐賀の出版事情を知る上でも重要な資料であるといえる。

・『泰巖公譜』

のものは第一系統に属するものである。
されており、今回で十本目となる。「泰巖公譜」には二系統あるが、「資料」されており、今回で十本目となる。「泰巖公譜」には二系統あるが、「資料」資料である。佐賀県立図書館の調査によるとこれまでに九本の存在が確認電造寺隆信事跡継承の歴史的検証のために石田一鼎が選述したとされる

### B、記録類

・書簡

見られる。

「資料」の大半を占めるのが書簡である。書簡には、政治家・実業家など見られる。

「資料」の大半を占めるのが書簡である。書簡には、政治家・実業家など見られる。

「資料」の大半を占めるのが書簡である。書簡には、政治家・実業家など見られる。

坂元規貞…第二回総選挙当選

川原茂輔…第二・七~十五回総選挙当選・佐賀日日新聞社長・衆議院議

長

松尾寛三…第四・五回総選挙当選

神埼東蔵…第七~十回総選挙当選・市会議員・県会議員

兼松熙…第八回総選挙当選

山口小一…第九回総選挙当選

豊増龍次郎…第十・十二回総選挙当選・市会議員・佐賀毎日新聞社長

永野静雄…第十回総選挙当選・佐賀県農工銀行頭宮

江副靖臣…第十一回総選挙当選・市会議員・県会議員・佐賀新聞社長

狩野雄一…第十一回総選挙当選·西肥日報社長

長谷川敬一郎…第十一回総選挙当選・県会議員・唐津製塩社長

井原喜代太郎…第十二~十四回総選挙当選・県会議員・祐徳軌道社長

副島義一…第十四回総選挙当選・早稲田大学教授

石川三郎…第十四回総選挙当選・陸軍大尉・県会議員・貴族院議

員

加藤十四郎…第十五回総選挙当選

刊した間柄であり、現時点(二〇〇九年十月現在)で百二十通を超える。中でも、江副靖臣は明治十七年(一八八四)に石丸と共に佐賀新聞を創

内容は、近況報告から新聞社の経営に関すること、議会や選挙に関する報

告や相談などである。

や、その実父・徳広源吉の書簡があり、梧竹の書画会開催や最晩年の動向・私的な書簡では、「明治の三筆」と謳われた中林梧竹の養子・中林袈裟吉

病状を伺い知ることができる。

朝鮮・台湾に在住する邦人からの書簡なども含まれている。 その他、明治初期に佐賀から北海道に移住した武富平作・善吉の書簡

・日記など

石丸自身が作成した記録では「知人名簿」と「日記」が上げられる。詳

料といえる。細な分析にはまだ至っていないが、「資料」の内容を解明する上で重要な資

活用が期待できるものである。このように、北川家資料の内容は多岐にわたり、今後の研究資料として

## 四、おわりに

現在、佐賀県立図書館では「江藤新作関係資料」、佐賀大学地域学歴史文化研究センターでは「山本家文書」など、近現代資料の整理・調査が進んでいる。また、今後新たに発見される資料についても近現代が中心になっていくと考えられる。「資料」はその量もさることながら、近代書簡類には当時の時代背景や社会情勢を示すものを多数含み、「資料」の整理・公開によって、近現代資料の価値が再認識され、資料保存の機運が高まるきっかけとなると考えられる。

最後に、「資料」整理に御協力を頂いている佐賀大学地域学歴史文化研究最後に、「資料」整理に御協力を頂いている佐賀大学地域学歴史文化研究

### 註

- 称している。 
  賀県立図書館では原則として出所の家名を資料群名とするため「北川家資料」と(1) 北川家資料は、そのほとんどが元佐賀市長・石丸勝一に関する資料であるが、佐
- (2) 石丸勝一の佐賀市長在任期間は以下のとおりである。二代市長:明治二十五~二

- 取締役などを務めた。 そのほか、佐賀市会議員・佐賀教育会会頭・地所株式会社取締役・神埼実業銀行十九年、五代市長:明治三十二~三十八年、六代市長:明治三十九~四十二年。
- (3) 三村晃功編「續五明題和歌集」和泉書院一九九二、三四八頁
- 起業社、佐世保新聞社を経営した。を務めたのち、県会議員四期を経て、明治四十五年に衆議院議員となる。その他、(4)一八五一〜一九一五。明治十七年に「佐賀新聞」を創刊。二十年間佐賀市会議員
- ○五) (5)中林梧竹のほか、日下部鳴鶴(一八三八〜一九二二)・巌谷一六(一八三四〜一九
- である。 (6) 江藤新作関係資料は、江藤新平の子で衆議院議員であった江藤新作に関する資料
- されている。

  (7)山本家文書については、伊藤昭弘「山本家文書調査ワークショップについて」(佐

(佐賀県立図書館資料課郷土調査担当